

◆ 部門活動紹介

インフラメンテナンス国民会議設置 に向けた活動



地域活動推進部門 皆川 勝 (東京都市大学)

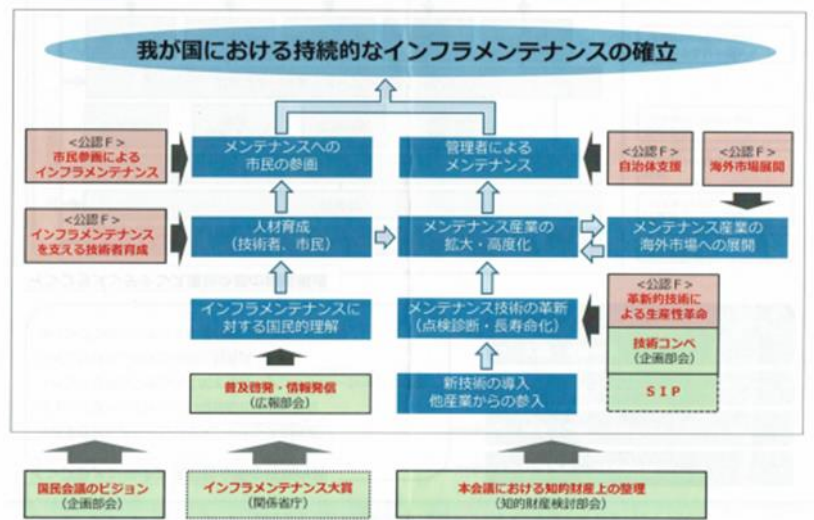
サービス提供部門と協力して自治体インフラメンテ事業化研究会を設置し、土木学会・教育企画人材育成委員会・シビル NPO 推進小委員会と協働で、国土交通省、自治体、NPO 等へのヒアリングを実施し、さらに、個別地域の活動支援を目標に、研究を続けてまいりました。

一方で、国土交通省では、社会資本整備審議会・交通政策審議会技術分科会技術部会・社会資本メンテナンス戦略小委員会が、「社会資本のメンテナンス情報に関わる3つのミッションとその推進方策」（以後、推進方策と呼ぶ。）および「市町村における持続的な社会資本メンテナンスの体制確立を目指して」を策定しましたが、この動きに対して本部門が中心に、NPO 等の「民」の参画が重要であることをパブリックコメントとして提言して、一部の意見が取り入れられたことはすでに報告しています。

その後、前者の「推進方策」の中で、施策の実現に向け併せて実施すべき事項として挙げられた「インフラメンテナンス国民会議（仮称）」（以後、国民会議と呼ぶ。）の設置の動きがいままさに活発化しています。国民会議は、「回り始めたメンテナンスのサイクルを着実に回すため、また、行政と国民、そして民間企業や大学等の研究機関、NPO などの多様な主体が社会資本の維持管理に向け理念を共有し、力を結集し一丸となって取り組む」ことを目的として設置されるものです。

本研究会での地道な活動は、この国民会議が設定する 7 つの戦略のうちの一つに、「戦略 5：国民へのメンテナンスの理念の普及」と「戦略 7：メンテナンスへの市民参画」が加えられる決定に影響を及ぼしました。さらには、下図のように、市民参画によるメンテナンスの構想が正式に論点となるに至っています。また、各種の部会やフォーラムの準備会では、広く多様な視点での意見を交換することが重要であるとの意味から有岡委員により提案されたワークショップ形式での検討が多く、準備会合で採用され、国民会議の準備活動に対して有益な提言となりました。

インフラメンテナンスの将来像と国民会議の役割(案) 国土交通省



さらに、鈴木委員（ガイアート熊谷）は技術者育成フォーラムの、小林委員（大日本コンサルタンツ）は広報部会のリーダー的立場での活動を国土交通省担当者から要請され、有岡委員と共に精力的に活動しています。市民参画についても、世古委員を中心に、研究会として国民会議に貢献できるよう、引き続き活動を展開中です。

このように、研究の段階から、いよいよまさに活動する段階に入ってきたと言えます。CNCP 会員の NPO 関係の方々には、ぜひこの動きに共鳴して国民会議準備活動に参画をされることを期待します。

連絡先は (minatororo@gmail.com 皆川勝) です。

平成 28 年 8 月